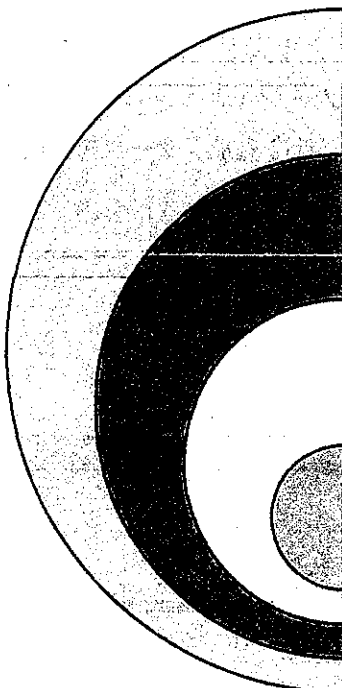


鹿児島国際大学大学院

福祉社会学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

<ご案内>

=夜間開講の大学院= 働きながら学べます！



大学等の教員	・これまでの福祉実践の経験を 生かして、福祉の学びを目指 す人たちを育てたい方
研究的実践者	・現在、福祉の現場で活躍して いるあなたの課題を自分で解 決したい方
施設等の管理・経営	・福祉施設のよりよい運営・経 営を実現したい方
社会福祉の専門家	・これまでの社会福祉的学び をより専門的に深めたい方

《福祉社会学研究科の目的》

福祉社会に関する深い学識及び卓越した能力を養うとともに、それに基づいて高度に専門的な業務に携わるための高度の研究能力をもつ優秀な人材の育成を主目的とし、福祉社会学に関する研究者として自立した研究活動を行う能力と豊かな学識を持つ者の養成も併せて目的としています。

《取得できる学位・資格》

◎修士（社会福祉学）

◎博士（社会福祉学）

高等学校専修免許状（福祉）

《授業科目》《学びの内容》

【博士前期課程（修士課程）授業科目】

- 社会福祉方法論特講 ○健康福祉学特講 ○高齢者福祉学特講 ○障害者福祉学特講 ○児童福祉学特講
- 保育学特講 ○保育方法学特講 ○精神保健福祉学特講 ○臨床発達心理学特講 ○生涯教育学特講
- 職業教育学特講 ○介護福祉学特講 ○社会保障論特講 ○社会福祉法制特講 ○地域福祉学特講
- 社会病理学特講 ○社会福祉調査特講 ○福祉経営特講 ○地域包括ケア特講 ○フィールドワーク実習
- 特別研究（演習）修士論文指導

【博士後期課程 授業科目】

- 社会保障特殊講義 ○生涯教育特殊講義 ○職業教育特殊講義 ○地域リハビリテーション特殊講義
- 介護福祉特殊講義 ○地域福祉特殊講義 ○社会病理特殊講義 ○ソーシャルワーク特殊講義
- 児童家庭福祉特殊講義 ○精神保健福祉特殊講義 ○精神医学特殊講義 ○社会福祉リサーチ特殊講義
- 特別研究（博士論文指導）

※ 年度により、休講になる科目もあります。

《長期履修制度》 博士前期課程（修士課程）

博士前期課程（修士課程）では、職業を有している等の事情により、本来の標準就業年限（2年）での教育課程修了が困難な方を対象として、長期履修制度を導入しています。制度の概要は次のとおりです。

- * 長期履修として申請できるものは、一般入学試験、社会人入学試験の合格者です。
- * 長期履修期間は3年です。
- * 授業料は、標準就業年限(2年)に相当する授業料の総額を長期履修期間の年数(3年)で除して納付します。
- * 入学試験合格後、入学後に指導を希望する研究指導教員の指導を受け、修得すべき科目とその単位数、受講年次、受講時期などについて履修計画を立てたうえで申請します。

長期履修制度の申請を希望する方は、入試出願時に志願票の「長期履修制度利用の有無（博士前期課程のみ）」の「有」をチェックしてください。

（詳しくは教務課大学院分室にお問い合わせください。電話：(代表) 099-261-3211）

《入試日程》

入試日程	出願期間<必着>	試験日	合格発表
秋季入学 (10月入学)	2023年6月6日(火)~6月16日(金)	7月1日(土)	7月14日(金)
春季入学<前期> (4月入学)	2023年8月15日(火)~8月21日(月)	9月2日(土)	9月15日(金)
春季入学<後期> (4月入学)	2024年1月4日(木)~1月18日(木)	2月17日(土)	3月1日(金)

【問合せ先】 鹿児島国際大学入試・広報課

TEL : 099 - 261 - 3211 (代表) FAX : 099 - 261 - 3299 (代表)

《初年度納入金(年額)》

	入学金	授業料	教育充実費	委託費収費	合計
博士前期課程 (修士課程) *長期履修制度有	155,000	470,000	100,000	31,430	756,430
博士後期課程	155,000	470,000	100,000	35,120	760,120

※上記は、2023年春季入学者における通常のコ額です。よって、秋季入学者や本学卒業生等の金額は異なりますので、詳細は「入学試験要項」をご確認ください。

【大学院専門教員一覧】
授業科目・研究テーマ・研究要旨

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	—	有村 玲香	准教授	①障害児福祉・保育 ②ペアレントトレーニング
授業科目		(M) 保育方法学特講, 特別研究(演習)修士論文指導		
研究要旨	身近な場所での専門的な学びとして、「既存の簡略化された行動分析の学習プログラム」を療育関係者の各段階に応じて、行動分析を駆使した対応スキルの向上を目指した研究を行っている。現在は、幼児期・小学校低学年に関わる専門職・専門機関を中心にノーマライゼーションの実現に向けて研修制度・支援体制・支援方法について研究している。			
研究領域	障がい児福祉、発達支援、ペアレントトレーニング、専門職支援			

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	○	岩井 浩英	教授	①「教育福祉論」の実践的価値に関する研究 ②子ども家庭ソーシャルワーク(学校ソーシャルワークを含む)に関する実践的研究
授業科目		(M) 児童福祉学特講, 特別研究(演習)修士論文指導 (D) 児童家庭福祉特殊講義, 特別研究(博士論文指導)		
研究要旨	①「教育福祉論」とは、家庭・学校生活における子どものウェルビーイング実現をめざし、教育と福祉の目的・機能的な統合化を図ろうとする学的試みである。筆者としては、特に、「教育福祉論」の実践的価値に基軸をおき、「家庭-学校-地域」ベースにおける教育福祉の支援システムの基盤化と実働化を(実践)研究課題としている。 ②平成20年度、福祉専門職を学校に派遣するといった「スクールソーシャルワーカー活用事業」(文部科学省)が全国実施され、鹿児島県でも同年度からの事業開始となった。現在、筆者は、鹿児島県教育委員会からスーパーバイザーとしての任命を受け、県下の市町に任用されたスクールソーシャルワーカーとともに日々学校支援に努めている。昨今の家庭生活や地域生活にみられる子どもの不利益事態に対し、学校での問題(ニーズ)キャッチを契機とし、地域ベースの専門的援助(コミュニティワーク等)を実施することは有効であろうと考え、学校ソーシャルワークを含む子ども家庭ソーシャルワークのあり方や可能性について実践的に研究している。			
研究領域	子ども家庭福祉, 教育福祉			

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	○	岩崎 房子	教授	①島嶼集落における地域包括ケアシステムに関する研究 ②高齢者ケア(看護・介護)に関する研究
授業科目		(M) 地域包括ケア特講, 特別研究(演習)修士論文指導 (D) 高齢者福祉特殊講義, 特別研究(博士論文指導)		
研究要旨	①医療・福祉サービスに乏しい島嶼地域における地域包括ケアシステム(地域づくり)の構成要素を明らかにし、自助・互助の掘り起しと、介護資源の地域化の可能性について実践的研究を行っている。 ②高齢者ケアにおける看護と介護の連携強化に関する研究を行っている。			
研究領域	高齢者福祉, 老年看護学, 地域包括ケア			

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	—	大山 朝子	教授	①福祉政策に関する研究 ②社会福祉実践史に関する研究
授業科目		(M) 社会福祉政策特講, 特別研究(演習) 修士論文指導		
研究要旨		第2次世界大戦前までの福祉政策および第2次世界大戦後以降の福祉政策の動向をふまえ、日本の福祉社会を構成する諸領域の歴史の再解釈を行っている。なかでもその存在が自明視されてきた民生委員制度やそれに関連する政策あるいはその根底にある社会関係について焦点を当て研究している。また、わが国と欧米との福祉政策を比較し、その背景にある思想・理論についての研究も行っている。研究方法としては、文献(実践事例等) 研究を中心としながら、実践者に対するインタビュー等についてのデータを蓄積し、分析する実証的研究を行っている。		
研究領域		社会福祉の制度・政策, 社会福祉の歴史		

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	—	川崎 竜太	准教授	①高齢者福祉制度・施策 ②高齢者の社会参加
授業科目		(M) 高齢者福祉学特講, 特別研究(演習) 修士論文指導		
研究要旨		①高齢者が地域で暮らしやすい仕組み作りのために、高齢者福祉に関連する制度や施策、福祉人材養成(確保)のための方策について研究している。 ②高齢者の社会参加を促す仕組みについて、地域や施設、企業等と連携しながら実践的に取り組んでいる。直近の主なテーマは、生涯学習のプログラムとして、「健康と防災」に関するフレームワークの作成に取り組んでいる。		
研究領域		高齢者福祉, 高齢者の貧困, 福祉人材養成		

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	○	佐野 正彦	教授	ラベリング論に関する理論的・実証的研究
授業科目		(M) 社会病理学特講, 特別研究(演習) 修士論文指導 (D) 社会病理特殊講義, 社会福祉リサーチ特殊講義, 特別研究(博士論文指導)		
研究要旨		ラベリング論が1960年代にアメリカ社会学会に登場してから半世紀以上が過ぎ、この理論の我が国への本格的紹介も70年代以降であった。それゆえ、ラベリング論はすでに新しい視角=理論とは言えなくなった。しかしながら、この視角は、時間経過とともに陳腐化することなく、その新鮮みを保持している。こうした新鮮みの由来を理論的・実証的に検討していきたいと思う。		
研究領域		社会病理学, ステイグマ研究		

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	○	高橋 信行	教授	①高齢者の社会的孤立 ②自治体福祉計画の策定のあり方
授業科目		(M) 地域福祉学特講, フィールドワーク実習, 特別研究(演習) 修士論文指導 (D) 地域福祉特殊講義, 社会福祉リサーチ特殊講義, 特別研究(博士論文指導)		
研究要旨		①ひとり暮らし高齢者の多い鹿児島で、高齢者の社会的孤立を、県内自治体を対象に調査研究をしている。 ②シンクタンク等に委託することが多い福祉計画の策定を調査活動から住民参加の視点をもって自立的に行政が策定するための方策を研究する。		
研究領域		地域福祉研究, 社会福祉研究法, 社会福祉教育		

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	○	千々岩 弘 一	教授	国語教育学専攻。漢字指導・書写指導・表記指導などの言語要素指導の研究。生涯教育的視点に立つ読書指導。
授業科目		(M) 生涯教育学特講, 特別研究 (演習) 修士論文指導 (D) 生涯教育特殊講義, 特別研究 (博士論文指導)		
研究要旨		生涯教育の視点から, 人がよりよく生きるといことと学びのありかたとの相関性について研究している。特に, 乳幼児期から老年期にわたる読書の意義と役割について焦点化している。また, 漢字指導・書写指導・表記指導などの言語要素指導に着目しながら, 学校教育における国語学力の伸長をどのようにして実現していけばよいかについても研究している。研究の方法としては, 児童・生徒の反応や成果物を考察して実証的なデータを蓄積・分析していく実証的研究, 過去の実践事例や理論を考察する歴史的研究, 例えばイギリスやノルウェーの実践と日本の実践とを比較・考察していく比較教育学的研究の手法をとっている。		
研究領域		生涯教育, 言語教育, 学校教育		

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	○	茶屋道 拓哉	准教授	①メンタルヘルスソーシャルワークに関する研究 (特に専門職の抱えるディレンマ) ②精神保健福祉士の人材育成に関する研究
授業科目		(M) 精神保健福祉学特講, 特別研究 (演習) 修士論文指導 (D) 精神保健福祉特殊講義, 特別研究 (博士論文指導)		
研究要旨		① わが国におけるメンタルヘルスソーシャルワークは, 保健・医療・福祉領域において多様な専門職や人材が集う中で展開される。その中で, クライアント中心・権利擁護・ストレンクス・リカバリー・エンパワメントを志向するソーシャルワーカー (特に精神保健福祉士) はディレンマを抱えやすい職種である。こういったディレンマに焦点を当て, 場面ごとの構造化や解決 (軽減) にむけた研究を行う。 ② 精神保健福祉士の養成と卒後教育の連動, 組織内における OJT やスーパービジョンに焦点を当て, 効果的な人材育成の在り方を探る。		
研究領域		社会福祉学 (精神保健福祉領域), 社会福祉研究法, 社会福祉教育		

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	—	永富 大舗	講師	①応用行動分析学の理論を用いた実践研究 ②発達障害児, 知的障害児への指導
授業科目		(M) 臨床発達心理学特講, 特別研究 (演習) 修士論文指導		
研究要旨		① 応用行動分析学の理論を用い, 支援者, 職員, 保護者, 当事者の行動変容やスキルの獲得に焦点を当てた研究を行っている ② 発達障害児, 知的障害児の学習面, 行動面, 社会性面のスキルの獲得や問題行動の減少に焦点を当てた研究を行っている		
研究領域		特別支援教育, 応用行動分析学, ペアレントトレーニング		

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	○	林 岳宏	教授	①精神神経疾患の生物学的研究 ②精神医療での多職種連携に関する研究 ③スポーツと精神疾患に関する研究
授業科目		(M) 精神医学特講, 特別研究 (演習) 修士論文指導 (D) 精神医学特殊講義, 特別研究 (博士論文指導)		
研究要旨		① 統合失調症患者における薬剤性パーキンソニズムを中心に, 分子遺伝学的手法を用いた精神疾患における研究を行っている。 ② 精神医療における多職種連携のあり方について, 精神保健福祉士の関わりを中心に研究を行う。 ③ アスリートへのメンタルヘルス支援に関する実践的研究を行っている。		
研究領域		生物学的精神医学, リエゾン精神医学, スポーツ精神医学		

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	○	松元泰英 (福祉社会学研究科長)	教授	①重症心身障害児の粗大運動についての研究 ②重症心身障害児の姿勢についての研究 ③重症心身障害児の摂食嚥下についての研究
授業科目		〈M〉健康福祉学特講 特別研究(演習) 修士論文指導 〈D〉地域リハビリテーション特殊講義 特別研究(博士論文指導)		
研究要旨		①重症心身障害児の粗大運動の発達はどのような指導で伸ばしていくのがよいか。「機能的アプローチ」を中心に指導した場合の有効性について研究している。 ②姿勢が重症心身障害児の体にどのような影響を与えるのかを研究している。 ③重症心身障害児の安全な摂食指導はどうあればよいか、直接訓練、間接訓練の両面から研究している。		
研究領域		重症心身障害児教育		

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	—	山下利恵子	准教授	社会保障制度研究
授業科目		〈M〉社会保障特講, 特別研究(演習) 修士論文指導		
研究要旨		①社会保障制度を取り巻く社会経済状況が変化する中で多くの改革が行われ実施されているが、さらに検討すべき課題も残されている。それぞれの法改正, 改革の内容やその功罪について、また社会保障制度全体のあり方について探ることを研究課題としている。 ②わが国の社会保障制度は社会保険を中心とし、普遍的性格をもつ年金, 医療, 介護, 雇用, 労災等が保険システムで展開されている。これら社会保険制度相互および生活保護制度等の関連性に焦点をあてた研究を行っている。		
研究領域		社会福祉学・社会保障		

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ
○	○	吉留久晴	教授	ドイツの職業教育に関する研究
授業科目		〈M〉職業教育学特講, 特別研究(演習) 修士論文指導 〈D〉職業教育特殊講義 特別研究(博士論文指導)		
研究要旨		これまで、職業教育やキャリア教育に関する研究を実施してきた。現在は、比較職業教育学研究という立ち位置から、少子化や高学歴化が進行しているドイツにおける職業教育をめぐる新たな動きとそれらが既存の職業教育システムに影響を及ぼす可能性を、同国の職業教育のステークホルダーの見解等に注目しながら、明らかにする研究に従事している。		
研究領域		教育学, 職業教育学		

